

自分らしく生きる

令和7年12月に、市内の4つの小学校(関宿中央小、みずき小、関宿小、木間ヶ瀬小)に、東京2025デフリンピックのサッカー競技・男子日本代表として銀メダルを獲得された野田市出身の瀧澤諒斗選手が訪問しました。

当日は、聴覚障がい者の日常生活やデフスポーツについての講演のほか、ジェスチャー伝言ゲームやサッカーのミニゲームが行われました！ジェスチャー伝言ゲームでは、言葉を使わず気持ちや内容を伝える難しさに児童たちは苦戦しながらも、身ぶり手ぶりを工夫し、瀧澤選手と一緒に楽しそうに取り組む姿が見られました。また、ミニゲームでは、瀧澤選手のボールコントロールに間近にふれ、児童たちは驚きと尊敬のまなざしを向けていました。授業を通して、スポーツの楽しさだけでなく、多様なコミュニケーションの大切さや、相手をおもいきり学ばず貴重な時間となりました。



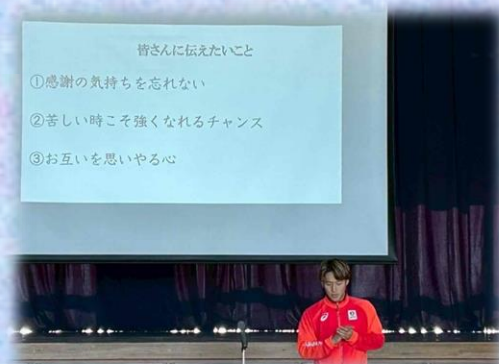
子どもたちに手話を教える様子



ミニゲームで楽しいひととき



銀メダル(本物です！)



瀧澤さんから、大切なメッセージを伝えました



給食と一緒に楽しむ瀧澤さん



たきざわ つた こと

瀧澤さんが伝えたかった事

たきざわ こ つた かんしゃ わす じぶん い
 瀧澤さんが子どもたちに伝えたかったことは「感謝を忘れないこと」と「自分らしく生き
 るということ」の大切さです。

たきざわ こうえん なか じしん しょう も う ころ まわ ともだち
 瀧澤さんは、講演の中で、自身が障がいを持って生まれたこと、子どもの頃は周りの友達
 と同じようにできないことが多く悔しい思いをしたこと、また、いじめられたこともあった
 と振り返り、その時の苦労を語っていました。

たきざわ けつ ひとり きょうちよう つう
 しかし、瀧澤さんは、決して一人ではなかったことを強調しました。スポーツを通じて
 であ なかま かぞく ささ こんなん た む かた
 出会った仲間や家族の支えがあったからこそ、どんな困難にも立ち向かうことができたと言
 いました。そして、①感謝の気持ちを忘れない、②苦しい時こそ強くなれるチャンス、③お
 たが おも ころ たいせつ はな
 互いを思いやる心、が大切だと話しました。

こうえん さいご じぶん じぶん い つよ
 講演の最後には、ありのままの自分で、自分らしく生きてほしいと強くメッセ
 ージを送っていました。

はっこう といあわ の だし ふくしふ しょう しゃしえんが
 発行・問合せ 野田市 福祉部 障がい者支援課

健康スポーツ文化都市 Well-being Sports Culture City

さまざま げんご ひょうげん しゅわ とくてい しょうひんめい しせつめい こゆうめいし つた こんなん
 様々な言語を表現できる手話ですが、特定の商品名や施設名などの固有名詞は伝えるのが困難で
 す。また、手話がわからないときもあります。そんな時は指文字の組み合わせで表現します。そこで使
 われているのが、「あ」～「ん」までの50音を指の形で表す「指文字」です。

あ	い	う	え	お
か	き	く	け	こ
さ	し	す	せ	そ
た	ち	つ	て	と
な	に	ぬ	ね	の

は	ひ	ふ	へ	ほ
ま	み	む	め	も
や		ゆ		よ
ら	り	る	れ	ろ
わ	を	ん		

ゆびもじ ごじゅうおんひょう
指文字 50音表